

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

『タクシー』という公共交通機関の立場から、地域社会の持続的発展に貢献します。」
当社は、人間生活の三大要素とされる「衣食住」に加えて、「移動する(できる)こと」は4つ目の要素であると考えています。2030年に向けて、世界中で、また、地域のコミュニティの中で様々な課題が表面化する中で、当社がおこなうタクシーによる交通サービスの提供も、変化する社会に適応したサステナブルなものに進化させる必要があり、進化することが社会の持続可能な発展に直結するものと考えます。
環境負荷の少ない車両の導入、そして従業員が生涯満足して働ける環境づくりに特に重点を置き、地域社会に貢献してまいります。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞			
三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時にに向けた数値目標)	
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	低公害車(ハイブリッド車)の継続導入。 すでに導入しているハイブリッド車の更新時期が到来した際は新たなハイブリッド車で更新する。 (ジャンボタクシーは当該車両クラスにハイブリッド車種が無いため対象外とする。)	項目	ハイブリッド車保有車両台数
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		28台	32台を継続
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	高齢者向け短時間勤務枠の設定等を通して、年齢を問わない乗務員採用を実施する。	項目	66歳以上の高齢者の新規採用人数
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		8名	10名
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	働きやすさと就業継続率向上のため、労働条件や職場環境の改善を推進。	項目	国土交通省の「働きやすい職場認証制度」の認証を取得する。
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		認証未取得	一つ星認証取得

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時にに向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

＜パートナーシップ＞

・熊本キャブグループ6社のうちの1社として、グループ全体にてBEVやHV等の低公害車の導入推進をおこなうとともに、ワークライフバランスの充実を通じた健康経営に取り組めます。
・菊池郡大津町より乗合タクシーの運行を受託。地域住民の皆様の移動手段を積極的に提供しています。また、路線バス廃止代替として町内の学校の生徒の登下校送迎のためのスクールタクシーの運行も受託しています。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況＞		
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	低公害車(ハイブリッド車)の積極導入	保有車両(全39台)をハイブリッド車へ更新。 2022年3台⇒2025年までに32台を入れ替える。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	28台をハイブリッド車へ更新したが、32台という数値目標は未達成。総保有台数を前回指標設定時の39台から現在は34台へ減車。また、34台のうちジャンボタクシー2台については当該車両クラスのハイブリッド車種は販売されていないため、ハイブリッド車への更新はできなかった。ジャンボタクシーを除いた32台中28台にはハイブリッド車を導入できたことから、導入率的には指標を達成できたものと判断する。	2025年6月時点で、ジャンボタクシーを除く全32台中28台に導入済。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	高齢者向け短時間勤務枠の設定等を通して、年齢を問わない乗務員採用を実施する。	2025年までに 高齢者を累計15名採用する。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	各種求人媒体やテレビCM、合同企業説明会などを通して、求人情報を積極的に展開し、一定の反応を得ることはできたものの、採用数目標には未達成となった。	累計8名採用
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	法令を遵守した安全運行を推進し、働きやすさと就業継続率向上を通じて、交通事故率減少を目指す。	有責事故数 2022年比⇒2025年半減
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	2024年のハイヤー・タクシー運転者の改善基準告示の内容からさらにゆとりをもたせた労働時間短縮による働きやすさ・就業継続のしやすさ向上の取り組みを実施。また、定期的な社内研修会による安全運転教育を継続的実施。これらの取り組みにより各従業員の安全意識向上が図られ、目標を達成した。	2022年比で62%減少。

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。
※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。